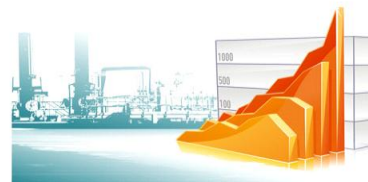


ぎふ経済レポート



平成27年6月分
岐阜県商工労働部

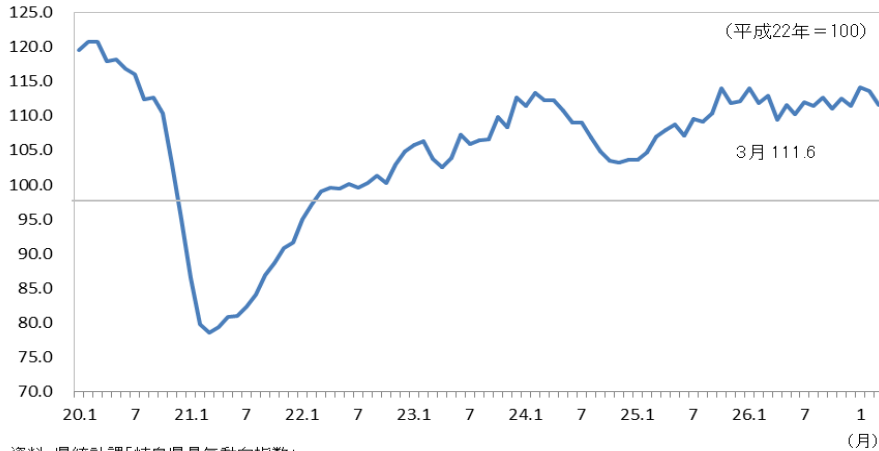
※企業等へのヒアリングは6月24日～26日を中心に実施し、7月13日に作成。

景気動向

- 3月の景気動向指数(一致指数)は、111.6と前月より2.0ポイント下降した。
- 5月の県内中小企業の景況感は、マイナス20と前月と同水準で推移した。

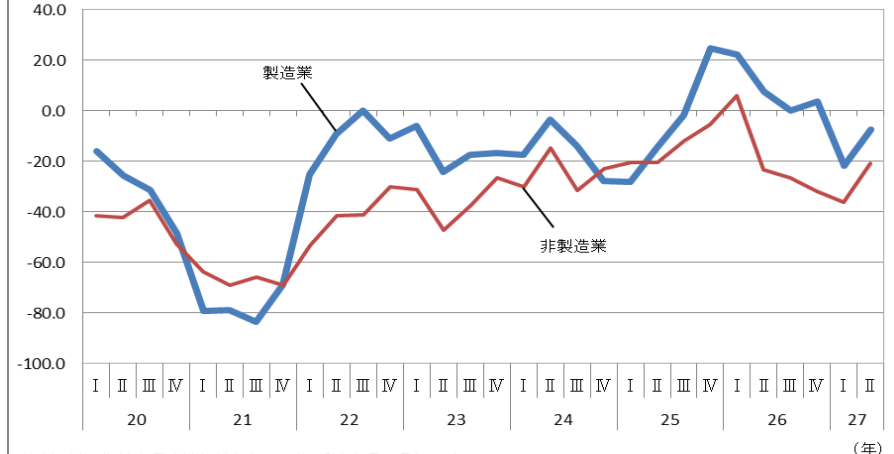
- 平成27年4-6月期の売上高は、製造業・非製造業ともに2期ぶりに増加した。
- また、利益についても、製造業・非製造業ともに2期ぶりに増加した。

岐阜県景気動向指数(CI)の推移



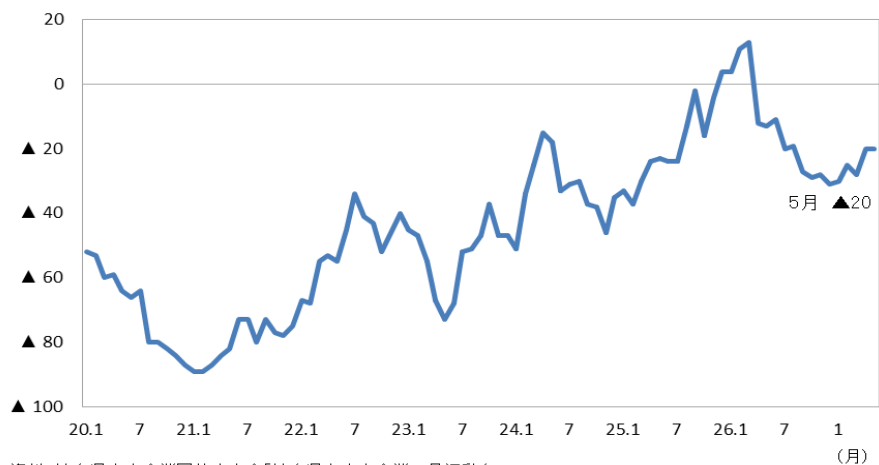
資料: 県統計課「岐阜県景気動向指数」

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



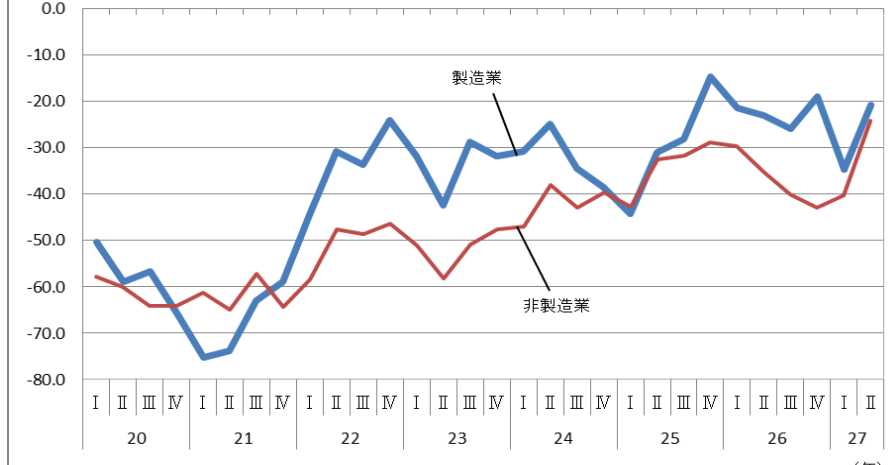
資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

県内中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



資料: 岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」

県内企業の採算DI(増加-減少)の推移



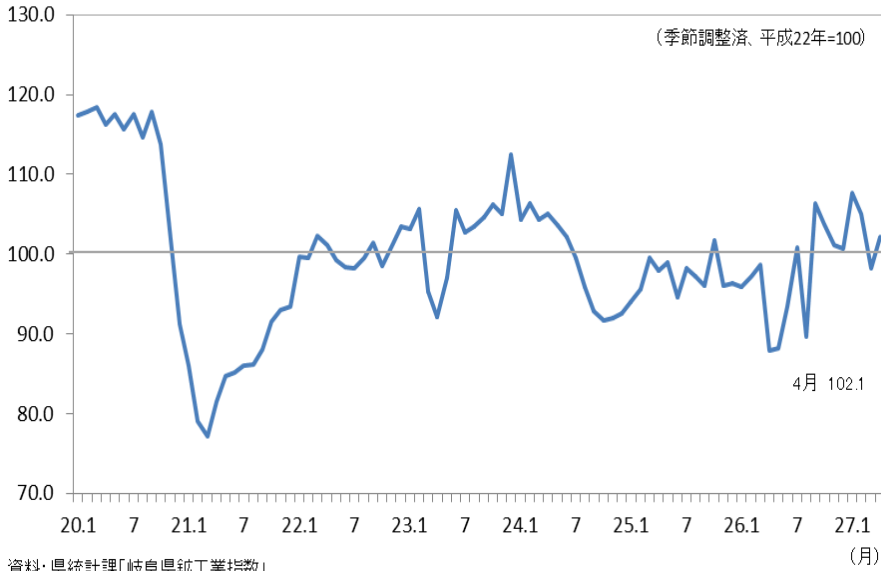
資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

製造業

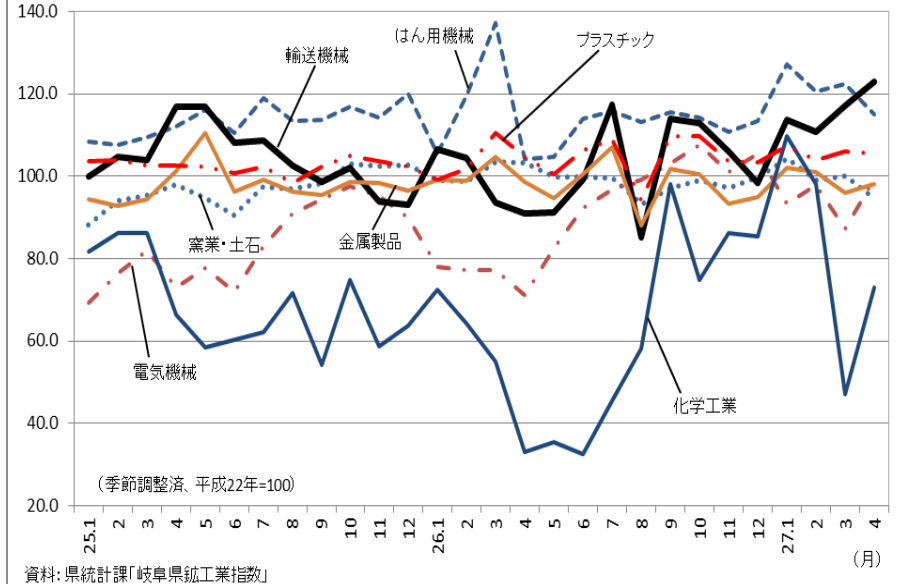
○4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、102.1と前月比プラス3.9%となり、3ヶ月ぶりに上昇した。

○4月の主な産業の鉱工業生産指数(季節調整済)は、はん用機械、窯業・土石、プラスチックを除く産業で前月より上昇した。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数

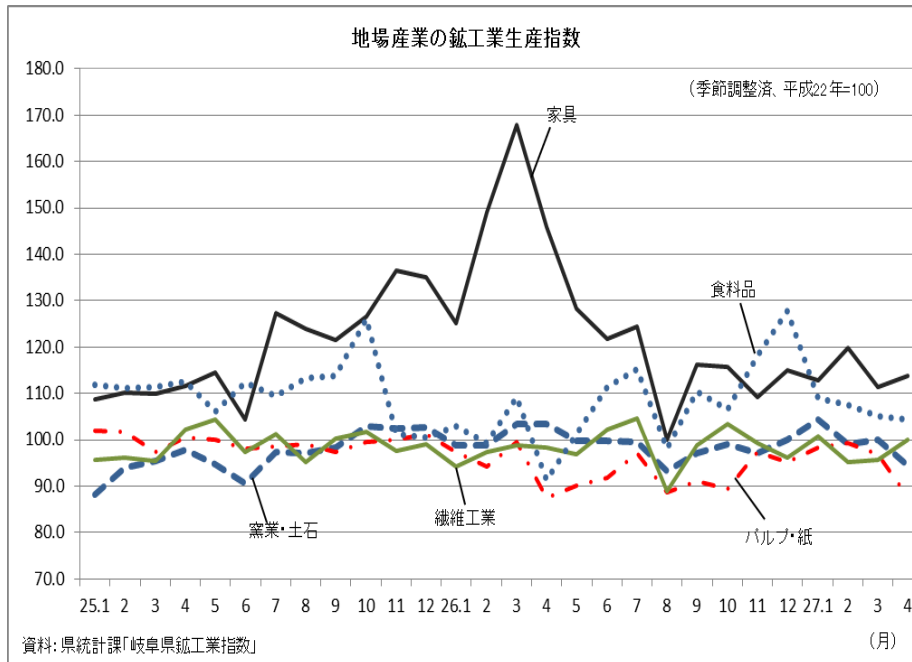


現場の動き

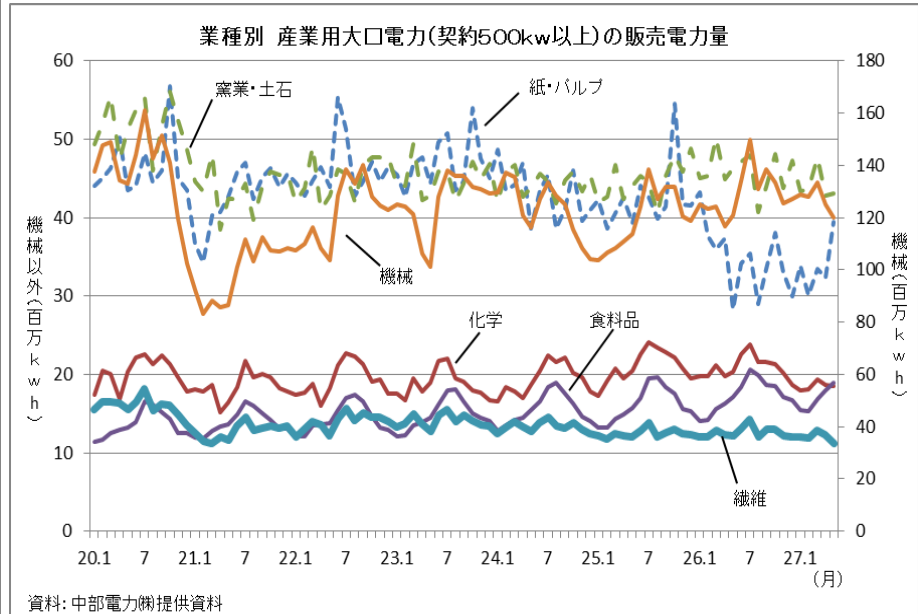
- ◆ 現地生産で行う予定であった製品が、国内生産に切替わったことにより受注が増えた。
- ◆ MRJ関係の受注は好調である。(以上、輸送用機械)
- ◆ サプリメントは、大量受注があり好調。飲料は、夏場のオンシーズンに向け受注が増加している。(食料品)
- ◆ 売上・受注とも今後2、3ヶ月は1割程度増加する見通し。(非鉄金属)
- ◆ ほぼフル生産体制が続いており、一部正社員の夜勤に加えて、労働者派遣契約もはじめた。(生産用機械)
- ◆ 売上・受注とも対前年比約15%増加。(金属製品)
- ◆ 樹脂部門および電子基盤部門の減少により、売上高が前年同月比9.9%減少した。(プラスチック)

製造業-2

○4月の地場産業(刃物を除く)の生産指数は、繊維工業、家具が前月より上昇したものの、窯業・土石、パルプ・紙、食料品は低下した。



○5月の工場向け電力販売量は、紙・パルプが16ヶ月ぶりに前年を上回った。また、化学が11ヶ月連続で、窯業・土石が7ヶ月連続で前年を下回った。

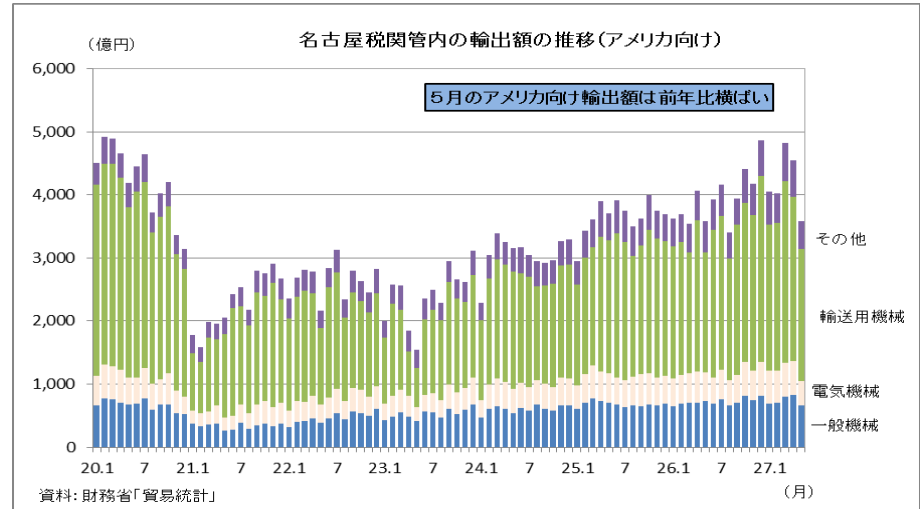
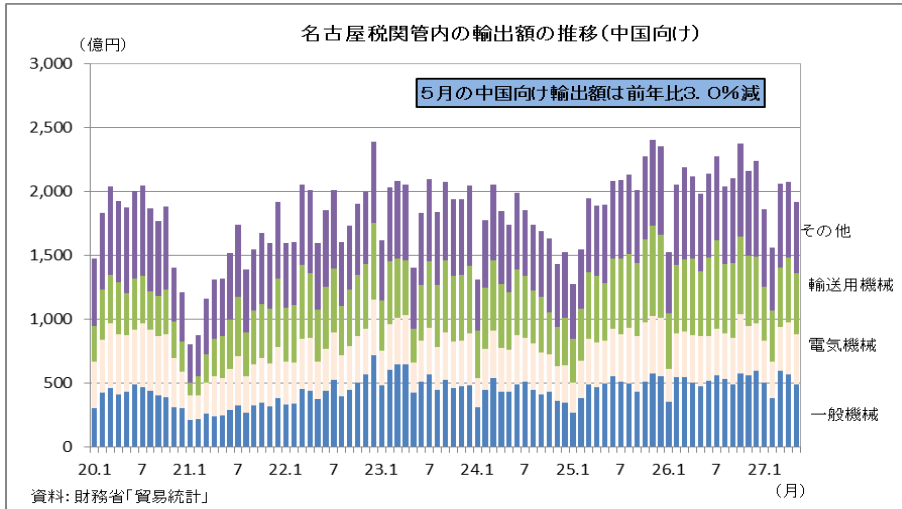
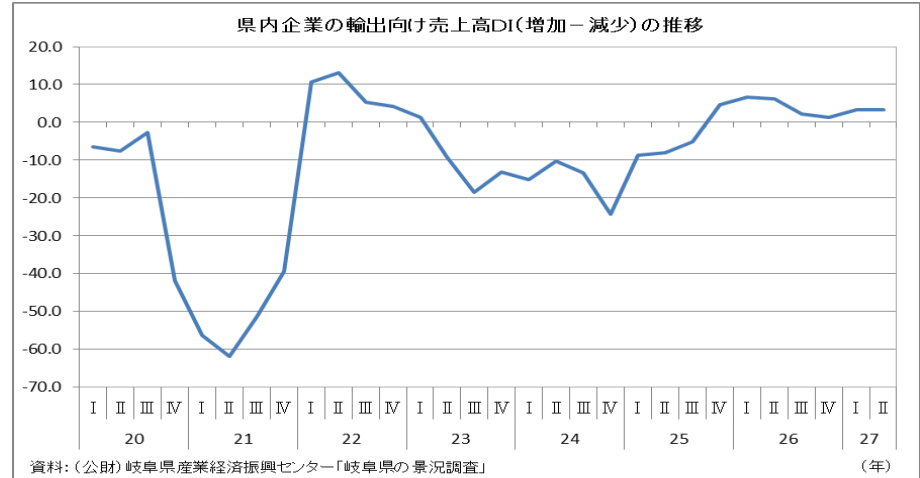
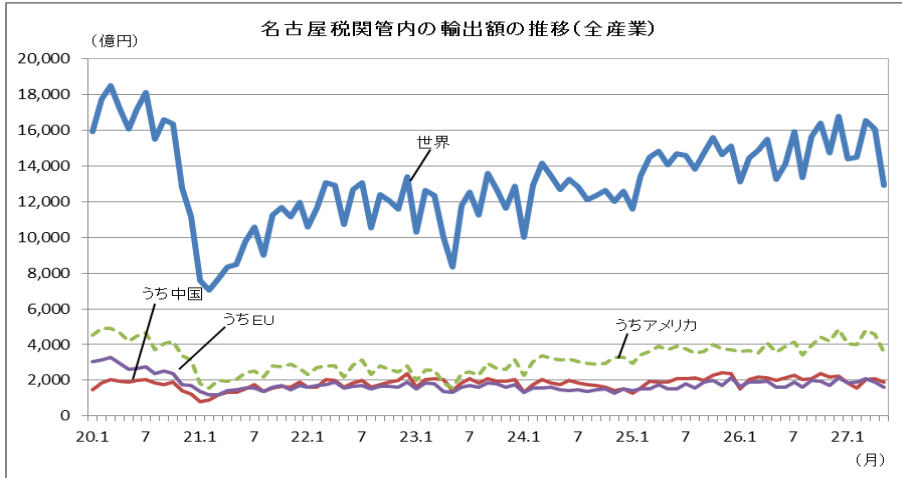


現場の動き

- ◆ 気温が高かった関係でスーツの販売が落ち込むなど、厳しい状況は変わっていない。(アパレル)
- ◆ 家具部門の売上については、前年同月比で18%増と持ち直してきているが、依然、先行きは不透明。
- ◆ 売上は、前年同月比で30%減少。対前々年比でも1割程度減少している。(以上、木工)
- ◆ 国内需要が伸びており、売上高は前年同月比約30%増加した。(刃物)
- ◆ 業績については、回復基調にある。(紙)

輸 出(名古屋税関管内)

- 5月の輸出額は1兆2,913億円で、前年同月比2.5%減と9ヶ月ぶりに前年を下回った。
- うち中国向けは、輸送機械が減少し、同3.0%減と4ヶ月連続で前年を下回った。
- うちアメリカ向けは、一般機械と電気機械が減少し、前年同月比横ばいとなった。
- 県内企業の輸出向け売上高DIは2期連続で増加しており、引き続き好調を維持している。



為替・原油価格の動向による影響について

- ◆円安で安定していることから、差益、差損のどちらもほとんど発生していない状況。(輸送用機械)
- ◆円安傾向が続くことでアルミ等の原材料費が高騰する可能性があり、為替動向を注視している。(非鉄金属)
- ◆海外との契約が纏まれば、為替なども注視していく必要がある。(金属製品)
- ◆円安や原油安の影響は感じられない。(はん用機械)
- ◆原油価格が上昇しており、今後、材料費の増加が懸念される。(プラスチック)
- ◆円安や海外での人件費の上昇等により、製造単価が上がり、値が上がっている商品がある。(スポーツ用品)
- ◆価格転嫁が進んできているため、影響は小さくなってきている。(金融)

アベノミクスの効果・影響について

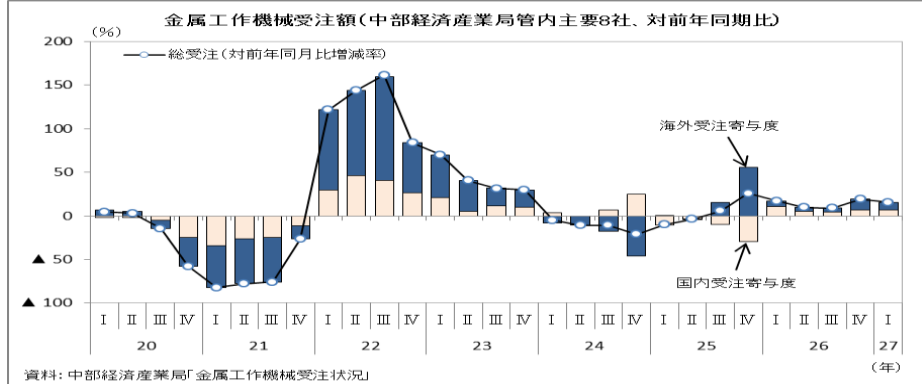
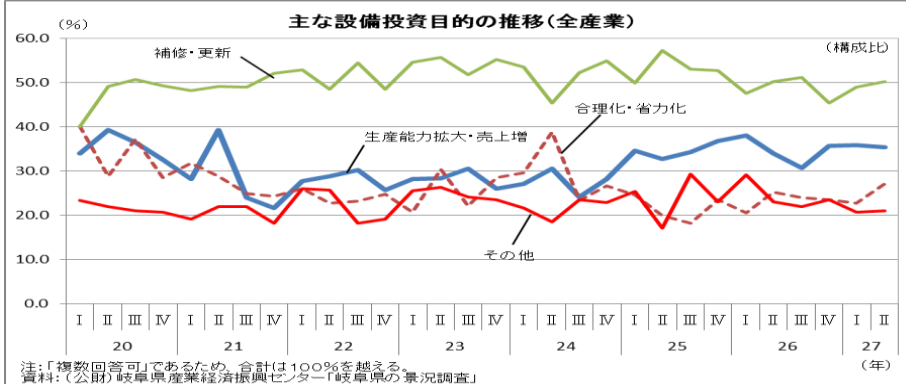
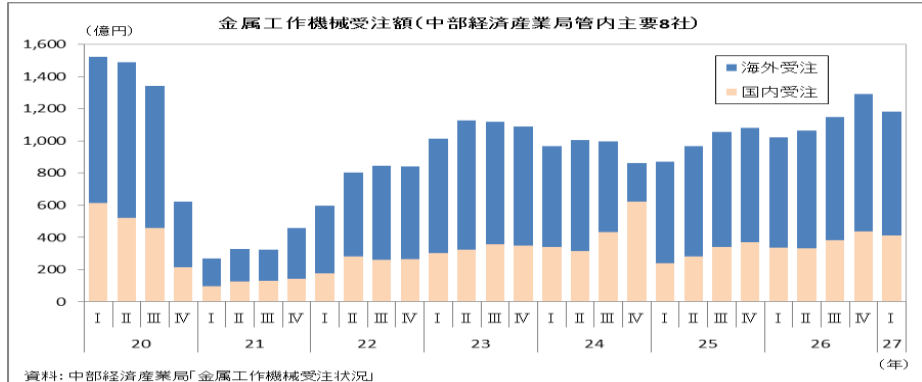
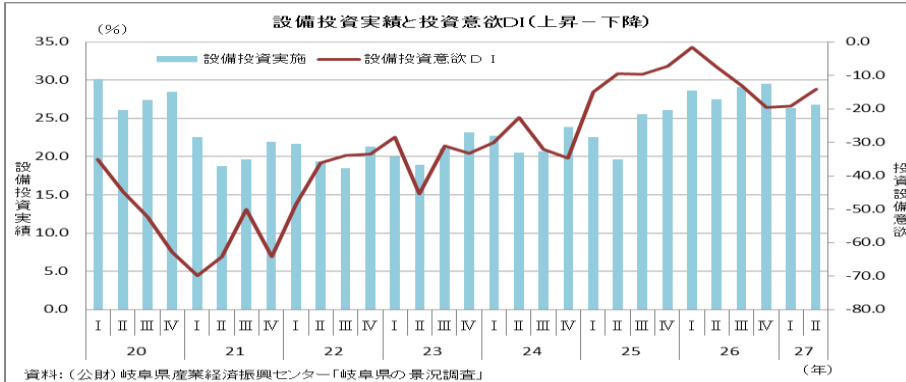
- ◆レクサス等の高級車が好調であるので、影響は感じられる。(輸送用機械)
- ◆ようやく中小企業にも効果が表れてきたと感じられるようになった。
- ◆新規事業・新製品等の研究開発助成金を有効に活用している。(以上、生産用機械)
- ◆法人税引き下げの効果が決算時に出てくる。(金属製品)
- ◆外商顧客の消費は堅調。美術・宝飾等は好調に推移している。(大型商業施設)
- ◆半年前から手土産用商品の売上が上昇しており、一定の効果を感じている。(食品)
- ◆外国人観光客は多く、アベノミクス効果(円安等)があると思われる。(高山商店街)
- ◆今後、地方創生による経済効果が出てくるのではないかと考えている。(金融)
- ◆アベノミクス効果は感じられない。(アクティブG、家電、商店街、住宅関連)

消費税率が10%に引き上げられた場合の影響について

- ◆8%への引き上げの際予想したほど影響はなかった。次回の増税時も影響は少ないのではないか。(輸送用機械)
- ◆消費税が10%へ引き上げられた場合、10%と2桁のインパクトは強く、また8%へ引き上げられてからの期間も短いことから、影響は非常に大きいと考える。(大型小売店)
- ◆次回の増税時に住宅関連の駆け込み需要が起こるのではないか。(金融)。

設備投資

- 平成27年4－6月期の設備投資実績は2期ぶりに増加した。目的別では、「生産能力拡大・売上増」は前月と同水準で推移し、「合理化・省力化」、「補修・更新」が増加した。
- 設備投資意欲は2期連続で増加した。



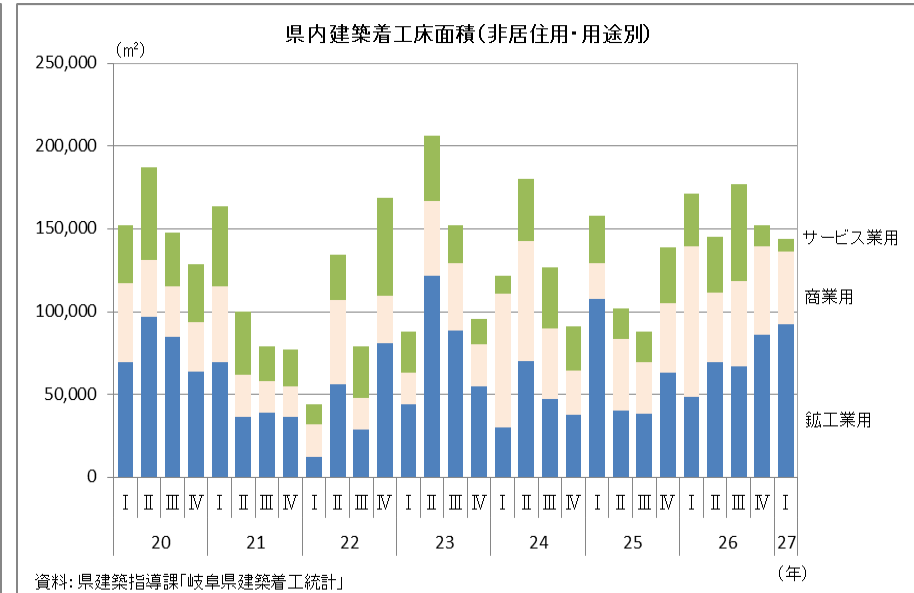
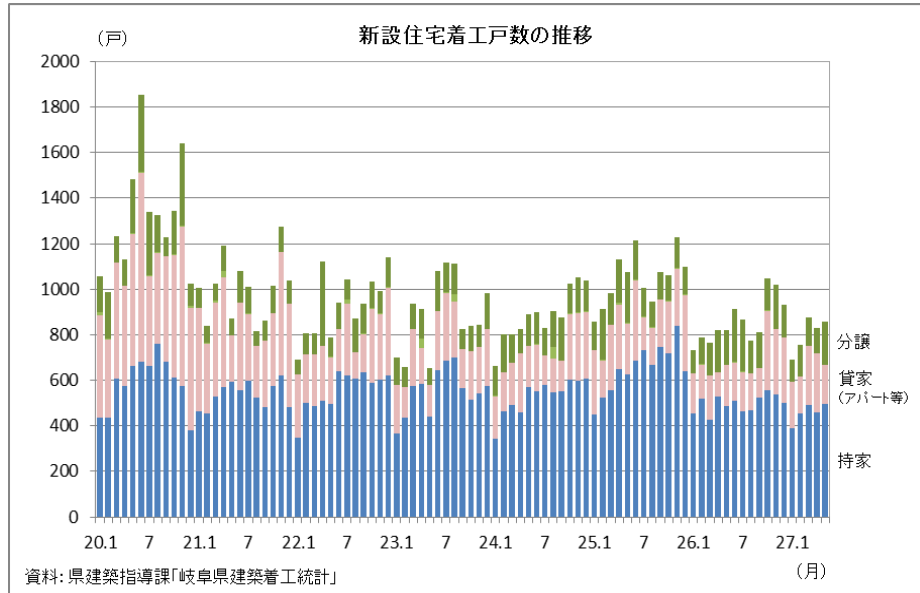
現場の動き

- ◆製造ラインの増設及び機械設備の入れ替えを予定。(輸送用機械)
- ◆新工場の引き渡しを受け、今後は設備機器を整備予定。(生産用機械)
- ◆「コーヒー什器」について、好調店を中心に増備を実施。(コンビニ)
- ◆9月に増産・合理化のため1億2千万円程度の設備投資を計画。(金属製品)
- ◆老朽化に伴う設備投資を予定。(製材)
- ◆工作機械製造や航空機関連産業が受注拡大により設備投資を進めている。(金融)

住宅・建築投資

○5月の住宅着工戸数は、貸家が減少したものの、持家、分譲が増加したことにより、全体で前年同月比4.9%増と3ヶ月連続で前年を上回った。

○平成27年1-3月期の建築着工床面積は、鉱工業用が増加したものの、商業用、サービス業用が減少し、全体では前年同期比16.0%減と6期ぶりに前年を下回った。

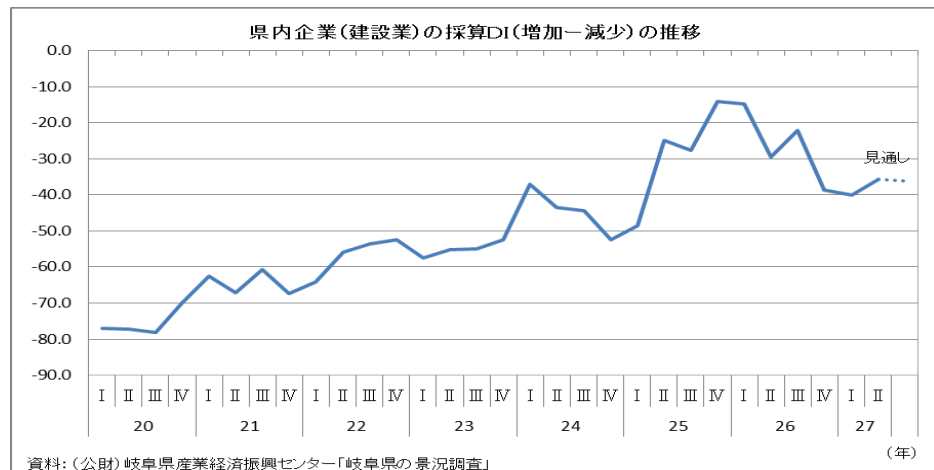
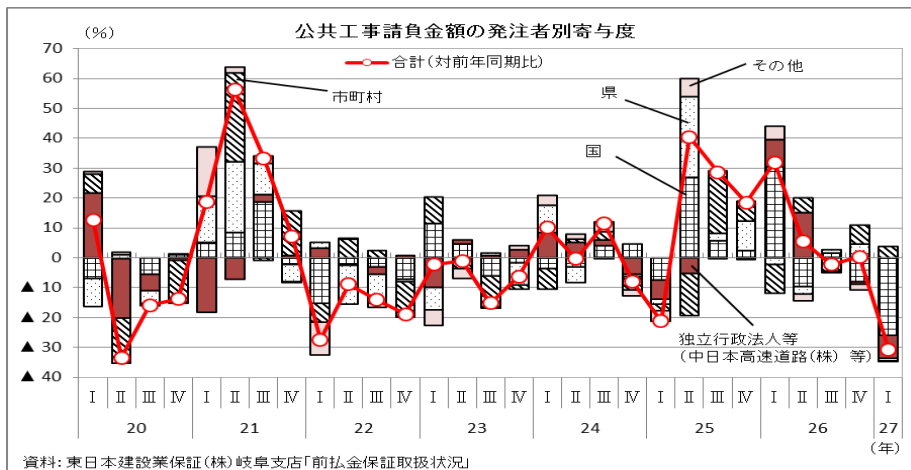
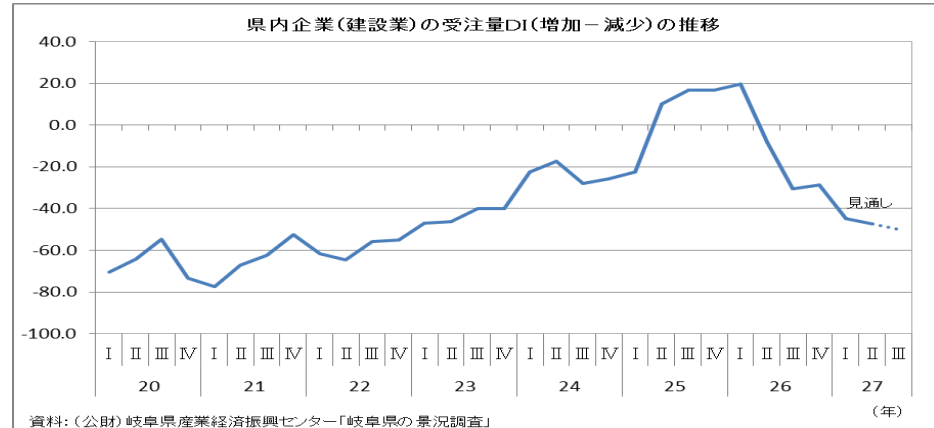
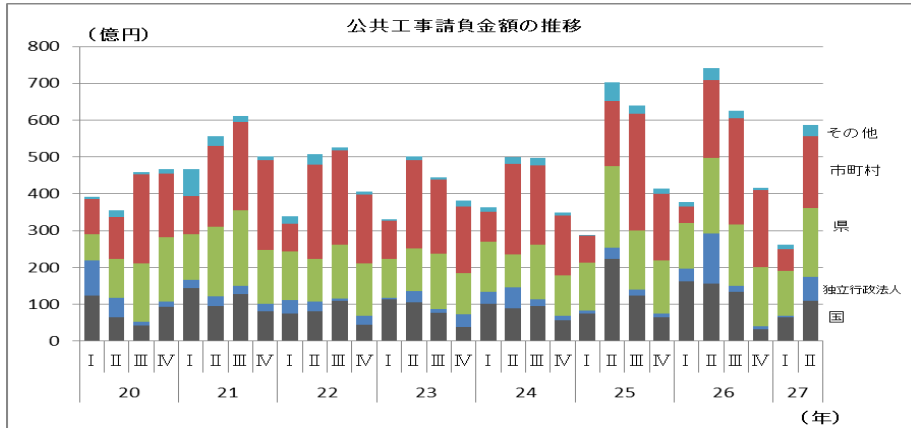


現場の動き

- ◆受注件数は前月に引き続き回復傾向にある。(住宅関連)
- ◆プレカットの受注は、公共物件の特殊材加工を受注しており、6月は良好であった。(製材)
- ◆A材(製材用材)は、特にスギの引き合いが極めて弱く、苦しい状況。
- ◆B材(集成材)の需要は、合板工場の生産調整の影響でやや下降。
- ◆C・D材(チップ・燃料用材)については、バイオマス発電施設稼働に伴う原木需要増の影響等から需要が非常に旺盛な状況が続いているが、価格は横ばいである。(以上、森林組合連合会)

公共工事

- 平成27年4－6月期の公共工事請負金額は、前年同期比20.7%減と2期連続で減少し、全ての発注者において前年同期比で減少した。
- 平成27年4－6月期の採算DIは、前期に比べ改善したものの、翌期は悪化の見通し。

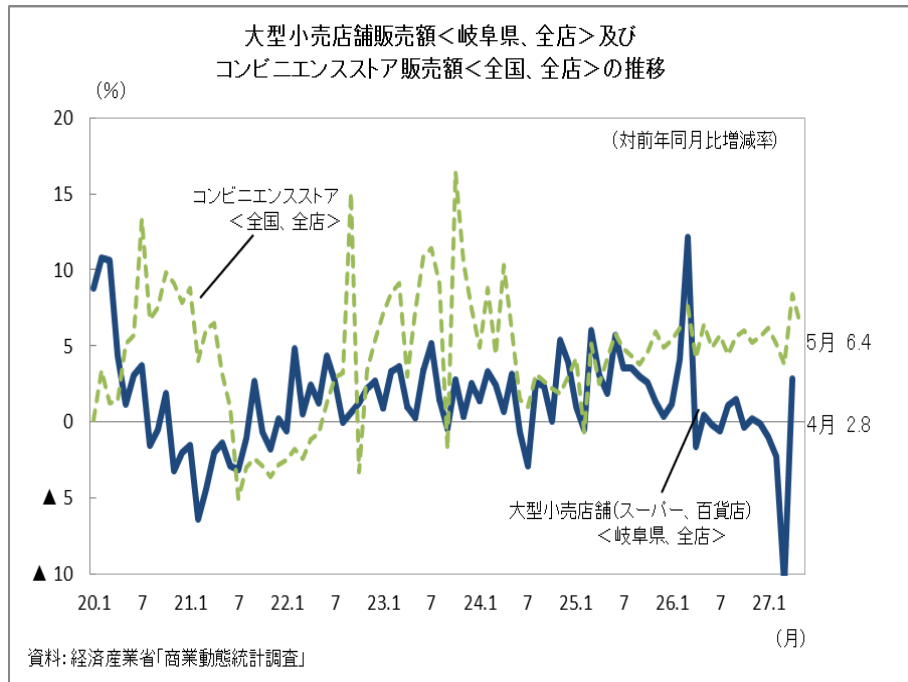


現場の動き

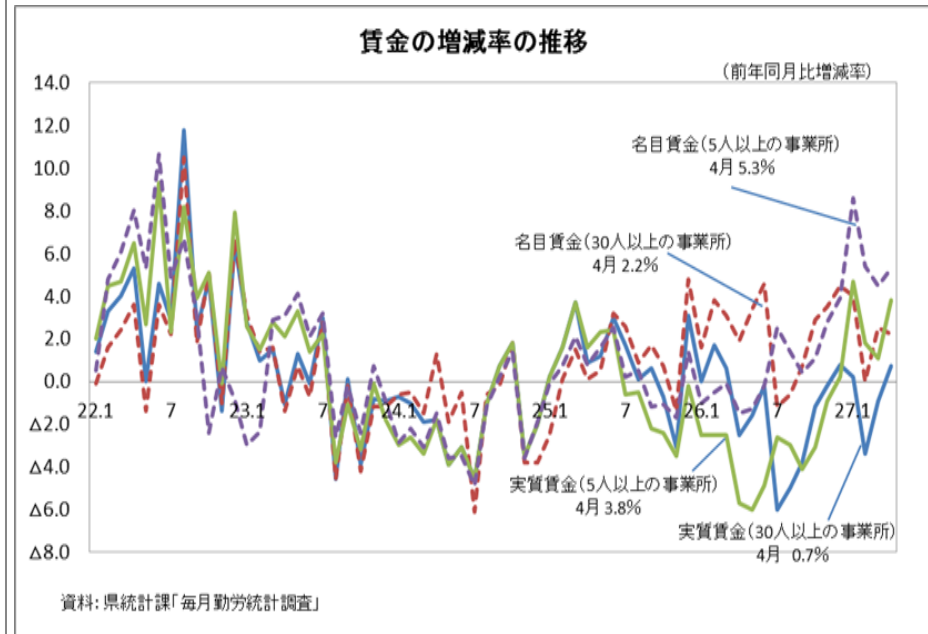
◆公共工事は時期的に少なく、技術者についても余剰感がある。また、民間工事においても、工事規模の大小を問わず、手持ち工事量は少ないと感じている。(業界団体)

個人消費(流通・小売)

○4月の大型小売店販売額は、前年同月比2.8%増と5ヶ月ぶりに前年を上回った。



○4月の実質賃金は、従業員5人以上の事業所は前年同月比3.8%増、従業員30人以上の事業所は、同比0.7%増となった。



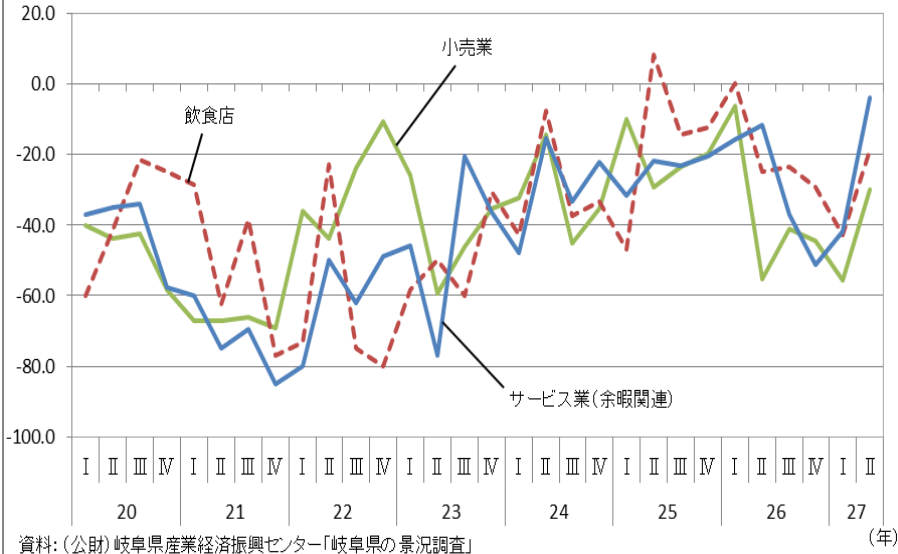
現場の動き

- ◆ 入店客数、売上ともに前年同月比で100%を若干上回っており、物販、サービス部門ともに好調に推移。
- ◆ 婦人服、紳士服・雑貨は消費税増税以降、基調が回復していない。(以上、大型小売店)
- ◆ 客数、売上ともに前年同月比で95%。昨年6月は、猛暑によりエアコン等の季節商品の売上が好調であったため、その反動で減少した。(家電)
- ◆ 5月に気温が上昇し夏物衣料が伸びたため、6月はその反動で、売れ行きにブレーキが掛かった。(スポーツ用品)
- ◆ 新仕器の導入に伴い、品揃えを拡大しているアイスクリーム、冷凍食品も売上を大幅に伸ばし、既存店の前年実績を上回った。(コンビニ)

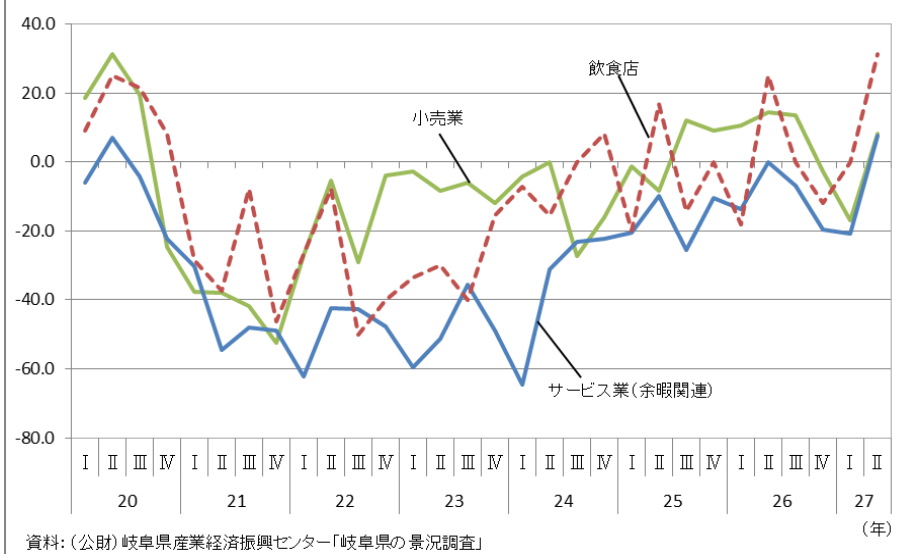
個人消費(流通・小売)－2

○平成27年4－6月期の小売業、飲食業、サービス業(余暇関連)について、売上高、製品販売価格ともに大幅に増加した。

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



県内企業の製品販売価格DI(上昇-下降)の推移



現場の動き

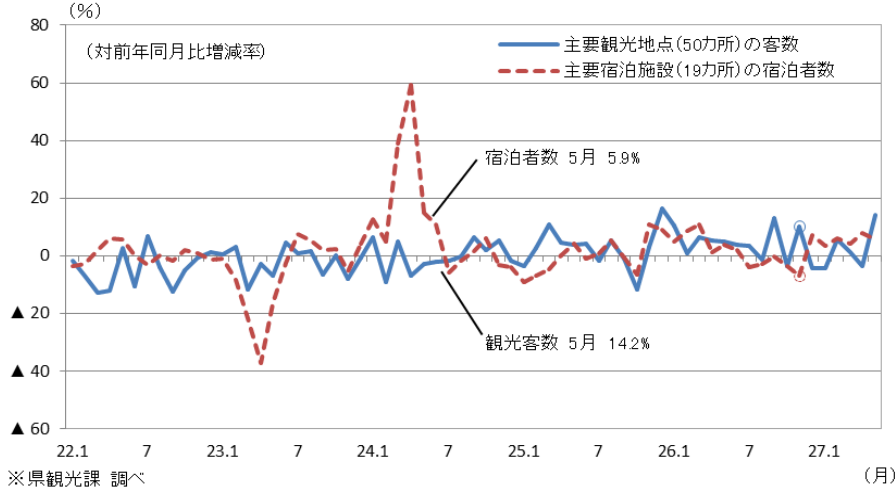
- ◆物販は新店及び企画展実施店舗の影響で部門全体としては好調に推移。
- ◆館全体売上としては前年同月比100%を上回った。
- ◆生鮮食料品スーパーは前年同月と同水準で推移。(以上、アクティブG)
- ◆7月1日からのプレミアム商品券が発売されるのを控えてか、普段より人手が少なかった。
- ◆売上は、婦人服店が前年同月比95%。飲食店が同100%、メガネ店が同100%。(以上、柳ヶ瀬商店街)
- ◆売上は、婦人服店が前年同月比80%。(大垣市商店街)
- ◆外国人観光客が大幅に増加した。
- ◆売上は、土産・雑貨店が前年同月比100%、衣料品店が同118%。(以上、高山市商店街)
- ◆売上は、酒類販売が前年同月比100%、子ども服も同95%。(多治見市商店街)

観光

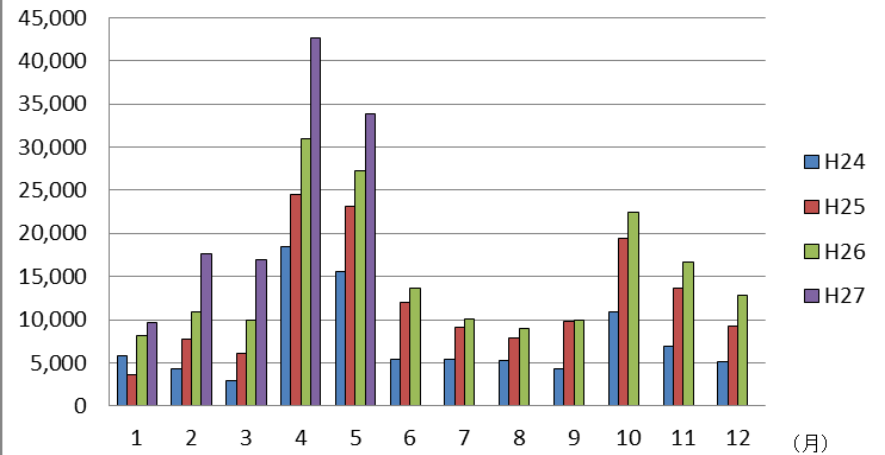
○主要観光地における5月の観光客数は、前年同月比14.2%増と2ヶ月ぶりに前年を上回った。一方、主要宿泊施設における宿泊者数は同5.9%増と6ヶ月連続で前年を上回った。

○主要宿泊施設における5月の外国人宿泊客数は、前年同月比24.2%増と28ヶ月連続で前年を上回った。

主要観光地点の客数及び主要宿泊施設の宿泊者数の推移



主要宿泊施設 外国人宿泊客数(対前年比推移)

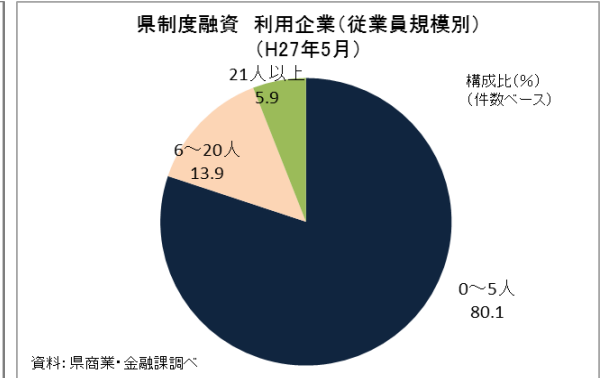
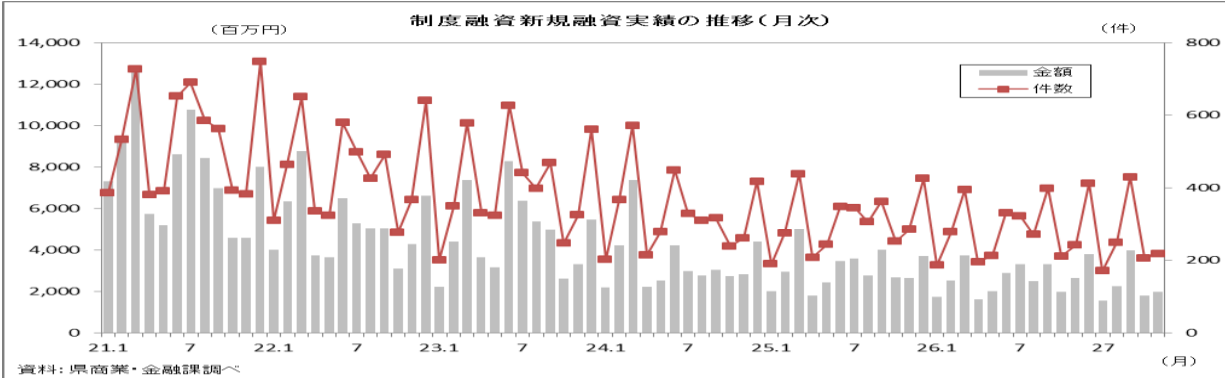
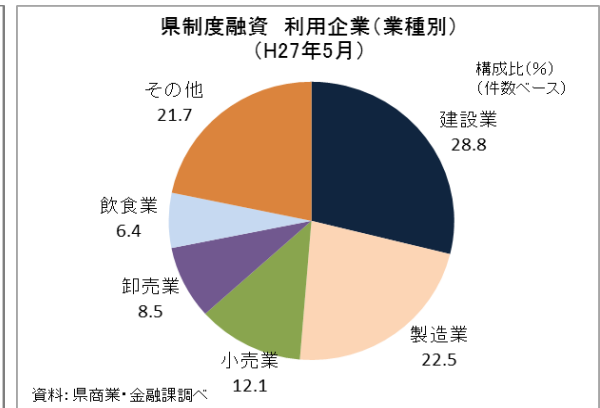
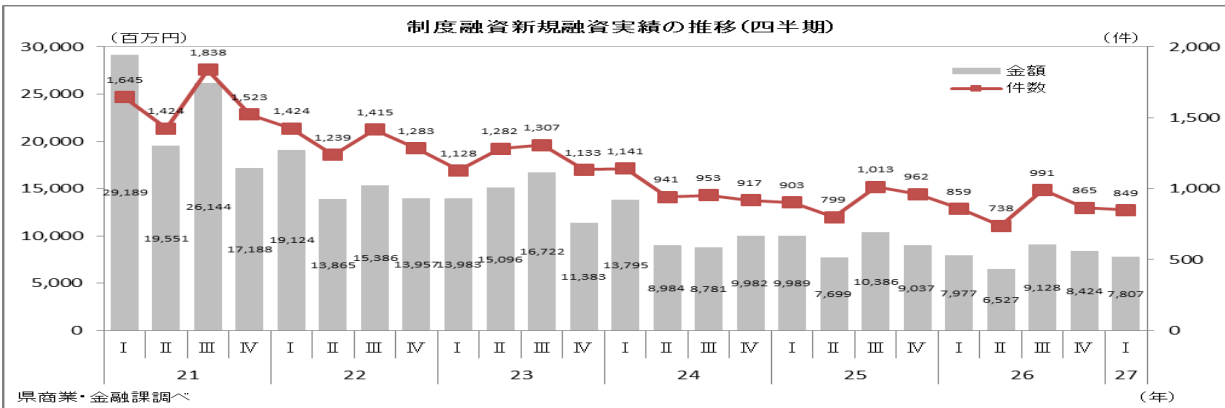


現場の動き

- ◆インバウンドの増加等により、宿泊客数は、7割近くの施設で前年を上回っており、好調を維持している。(宿泊施設の総括)
- ◆観光入込客は県内全域で前年比で増加傾向にある。(観光地の総括)
- ◆ふるさと旅行券発行も影響し、高単価の予約を多く受注できている。(岐阜市内の宿泊施設)
- ◆インバウンドについては、依然好調に推移している。(大垣市内の宿泊施設)
- ◆法人団体の募集ツアーや、学生の勉強合宿などを含め、順調に予約を受注している。(恵那市内の宿泊施設)
- ◆韓国からの宿泊客が増えているが、MERSの影響により、今後の旅行自粛が心配される。
- ◆訪日外国人の客単価が上がってきている。特に欧米、中国が好調。(以上、高山市内の宿泊施設)
- ◆円安により、インバウンドは活発に動いているが、MERSの影響が懸念される。(下呂市内の宿泊施設)

資金繰り

- 新規融資実績は、平成21年秋口から沈静化が続いていたが、下げ止まりの兆しが感じられる。
- 5月の実績は金額が前年同月比1.2%減と3か月ぶりに減少し、件数は同2.3%増と3ヶ月連続で増加した。
- 建設業・製造業の利用が多く、従業員5名以下の零細企業が8割を占める。

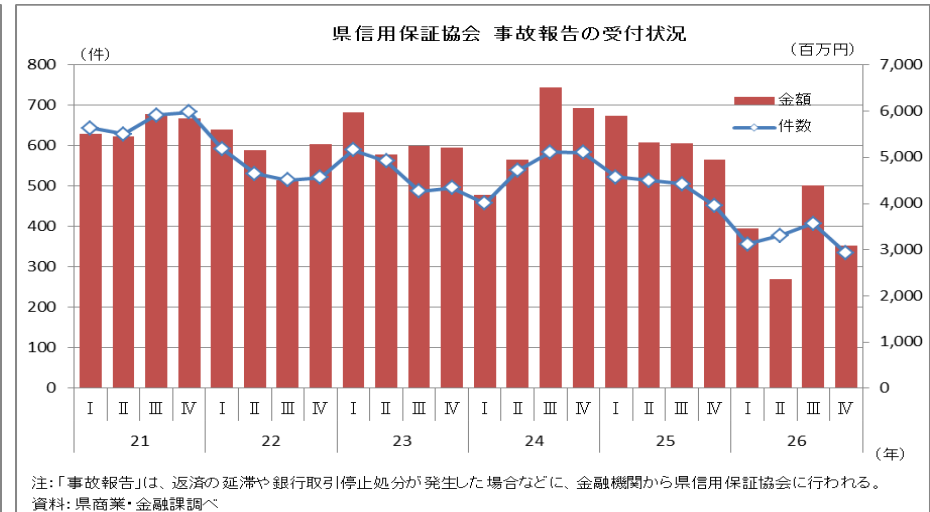
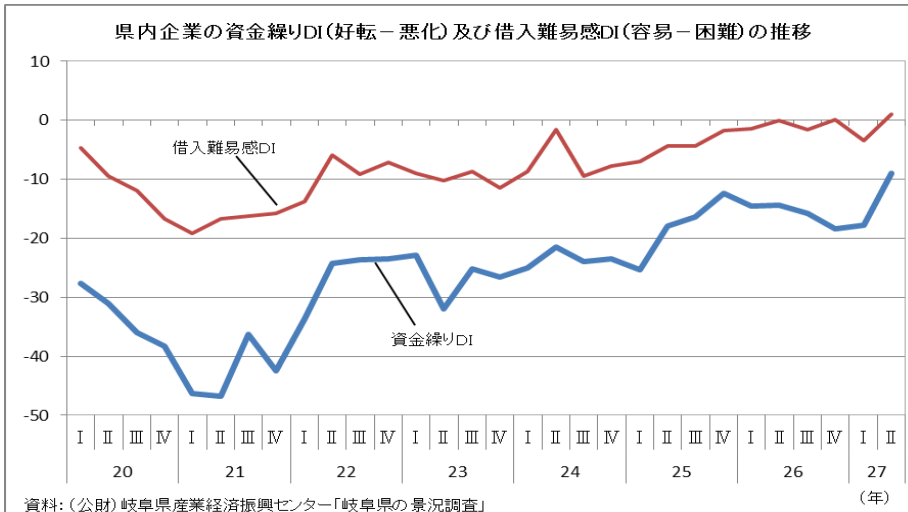
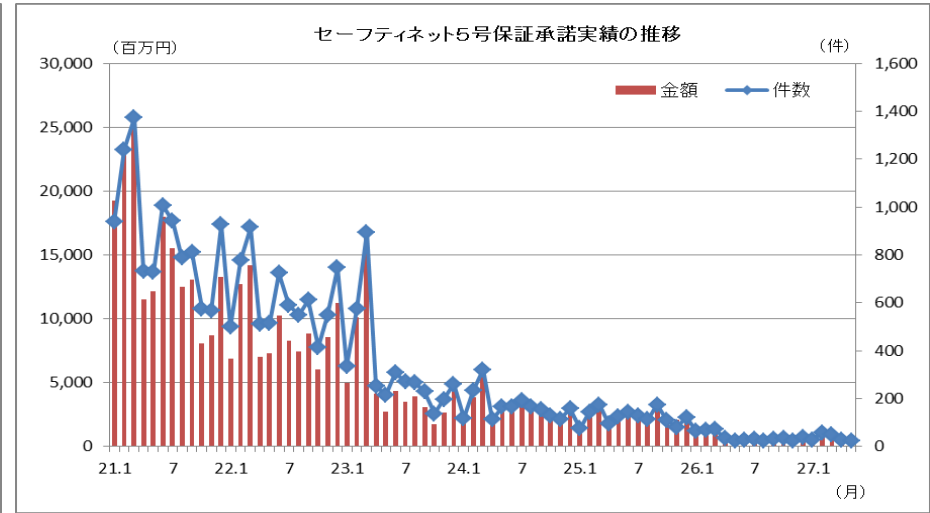
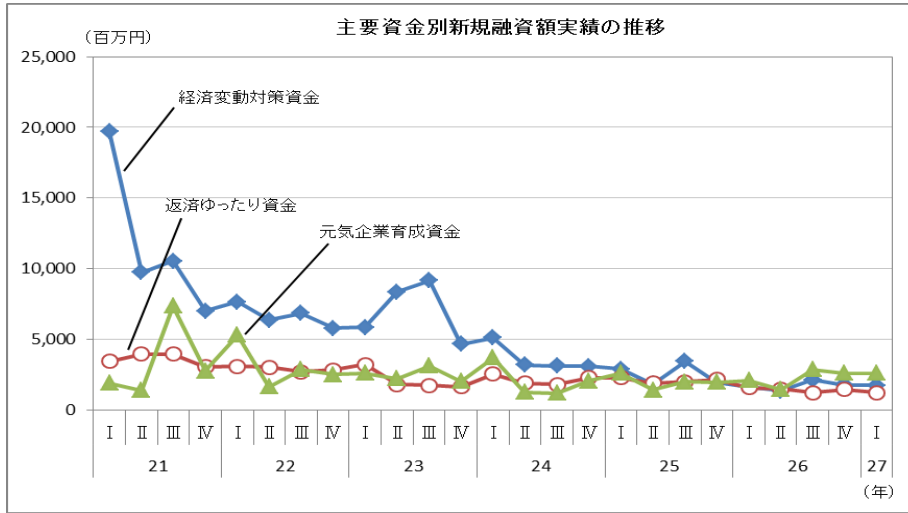


現場の動き

- ◆受注や消費マインドが上向き、資金需要の回復が見られる。
- ◆融資額は全体的に減少。
- ◆設備投資目的の融資は伸びている。(以上、金融)

資金繰りー2

- 資金繰りを改善するための運転資金である「経済変動対策資金」の融資額実績、業況の悪化している業種に属する中小企業者を支援するための措置である「セーフティネット保証5号」の承諾実績は、平成21年秋以降減少傾向にある。
- 資金繰りについては、資金繰りDIが2期連続で増加し、借入難易感DIが2期ぶりに増加した。



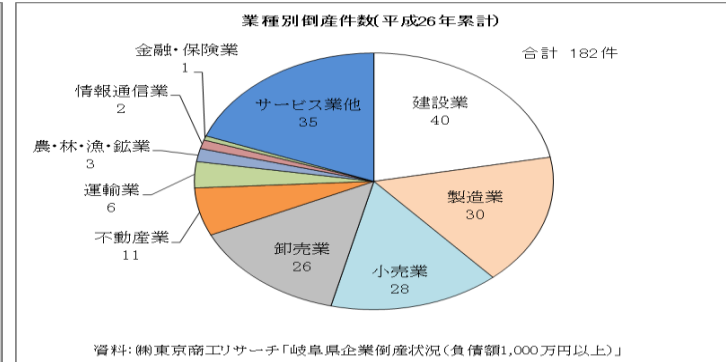
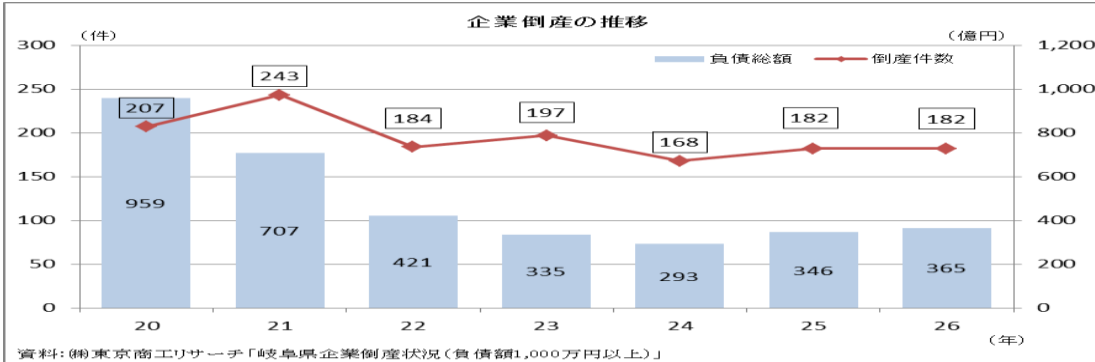
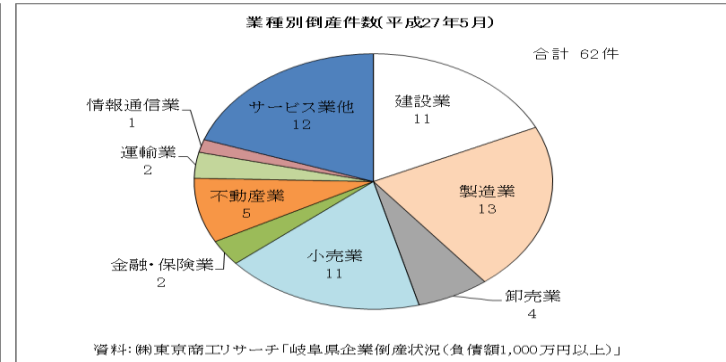
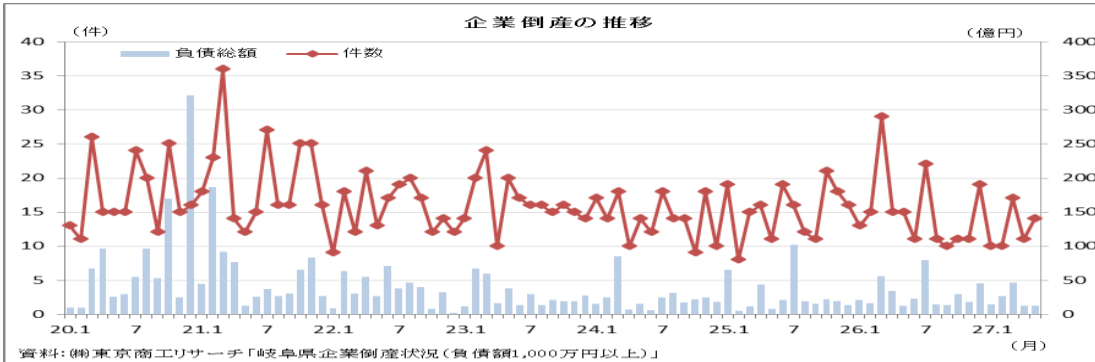
注:「事故報告」は、返済の延滞や銀行取引停止処分が発生した場合などに、金融機関から県信用保証協会に行われる。
資料:県商業・金融課調べ

資料:(公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

倒産

○5月の倒産件数は前年同月比6.7%減の14件、
負債総額は同1.0%減の12億2,800万円となった。

○業種別では、建設業と製造業で
倒産件数の4割を占めている。



専門機関の分析(東京商工リサーチ)

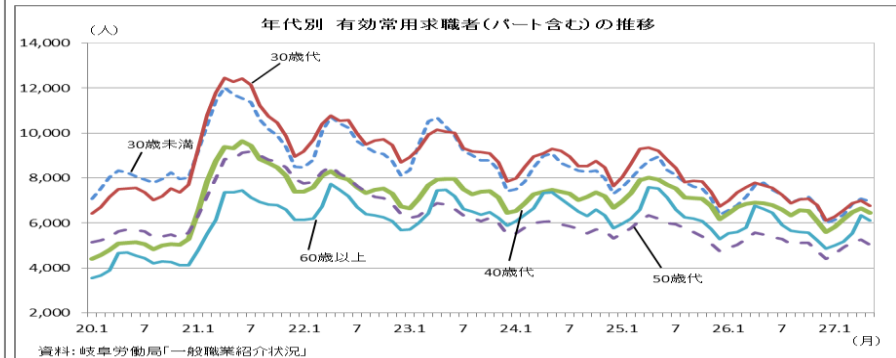
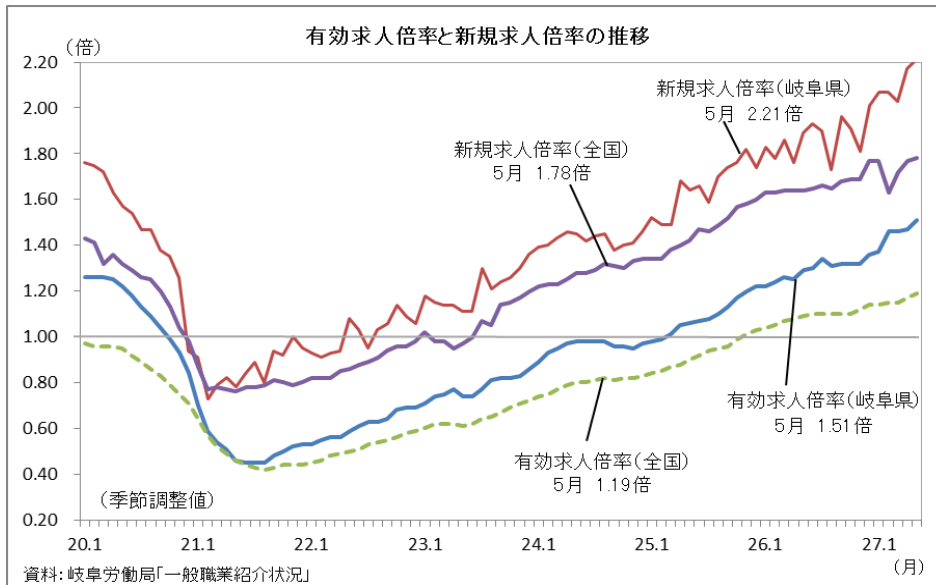
- ◆負債総額10億円を超える倒産が無く、1億円以上は4件であり全体の28.6%を占めているが、1億円以上の小口先が71.4%と半数を占めており、負債総額を抑制する要因となった。
- ◆業歴30年以上の老舗企業3件、10年以上で10件と全倒産件数の71.3%を占めた。
- ◆10人未満の企業が12件と全倒産件数の85.7%を占めた。
- ◆為替相場の円安基調による原材料費、燃料費が高止まっているため、景気回復の恩恵が受けにくい中小零細企業にとって厳しい状況が当面続くものと見られる。

雇用

○5月の有効求人倍率(季節調整値)は1.51倍と前月より0.04ポイント上昇した。

○5月の新規求人倍率(季節調整値)は2.21倍と前月より0.04ポイント上昇した。

○5月の雇用保険受給者人員は前年同月比8.2%減と23ヶ月連続で前年を下回った。



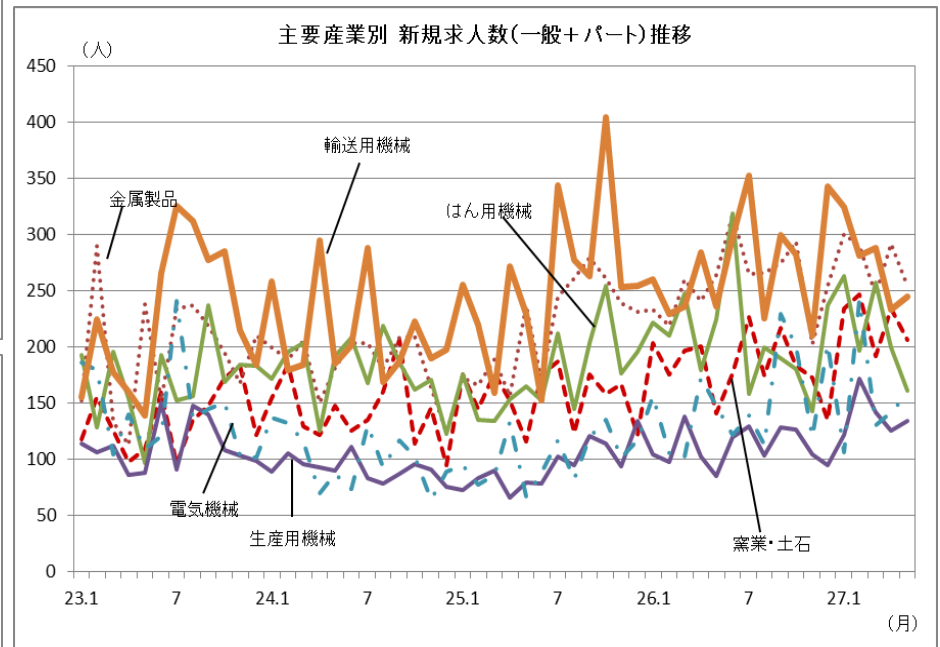
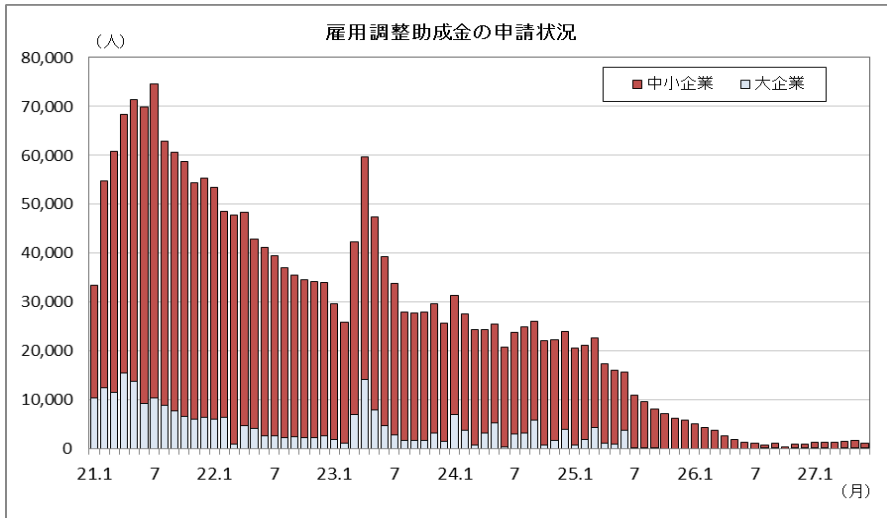
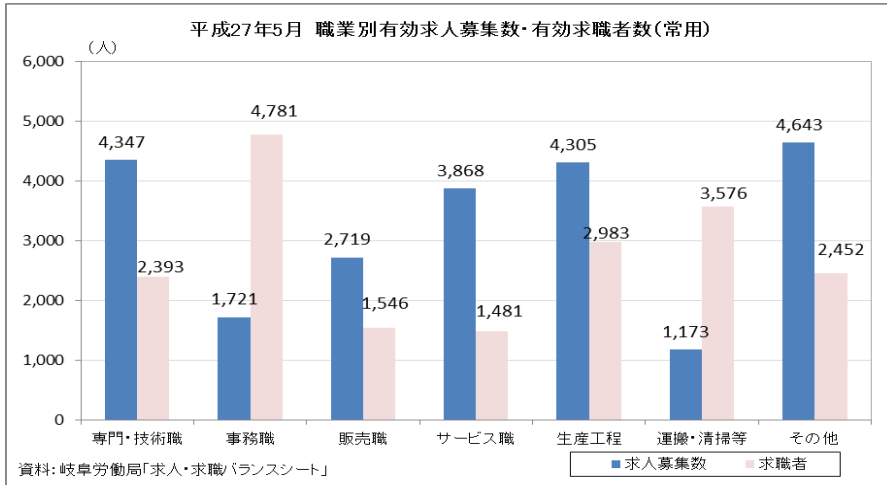
現場の動き

- ◆ハローワークを通じた求職者の応募は前月より減少したが、在職中の転職希望者からの応募は増加した。
- ◆人員不足の部門には、社内異動により人員の調整を行っている。(以上、食料品)
- ◆派遣社員を募集しており、応募はあるものの、望む人材が確保できていない。(輸送用機械)
- ◆人手不足の状況が続いており、パソコン等からの面談予約により募集体制を強化している。(コンビニ)
- ◆新卒者の人材確保には苦慮している。自社の社風に合う学生と中々出会えない。(金属製品)
- ◆全体的に人件費が上昇し、利益率がマイナス傾向にある。
- ◆専門職(技術職)や、建設業、飲食業は引き続き人手不足感が強い。(以上、金融)

雇 用(職業別)

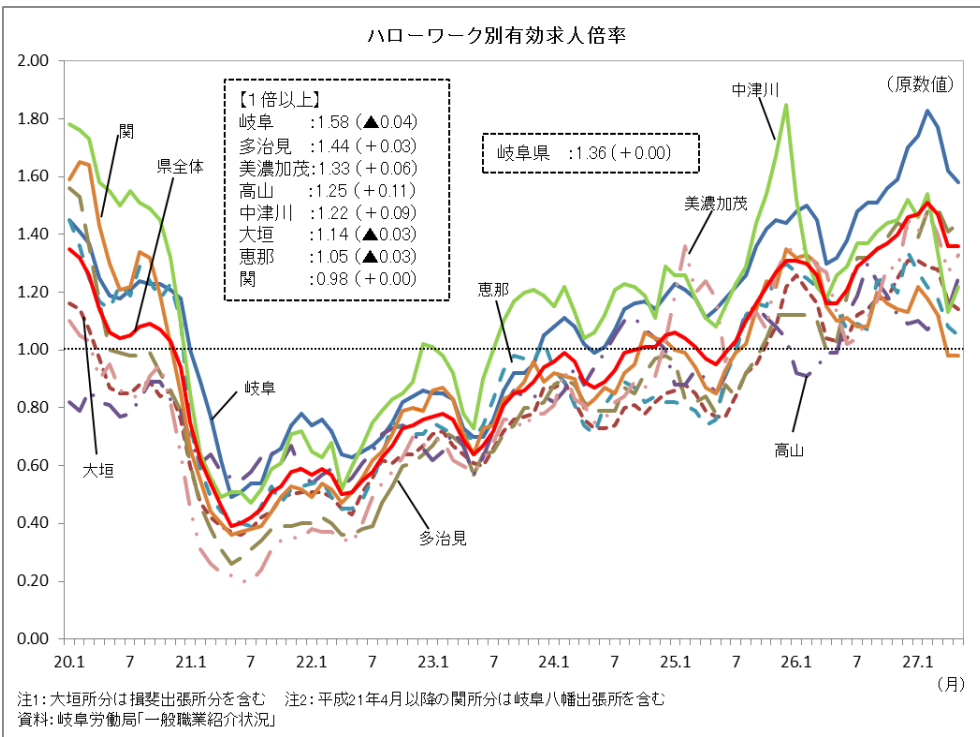
- 「事務職」や「運搬・清掃等職」では、求人募集数と求職者数のギャップが大きい状況が続いている。
- 雇用調整助成金は東日本大震災直後に急増したが、現在は減少傾向にある。

- 5月の主要産業における新規求人数は、生産用機械が前年同月比57.6%、窯業・土石が同46.1%、電気機械が同6.8%、輸送用機械が同3.8%増加したが、はん用機械が同28.1%、金属製品が同3.8%減少した。



雇用(地域別)

現場の動き(先月比)



<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は増加、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数は増加、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<窓口の様子>

- ◆関は混雑。恵那は同じくらい。岐阜、大垣、多治見、高山、美濃加茂、中津川は空いている。

<ハローワーク美濃加茂>

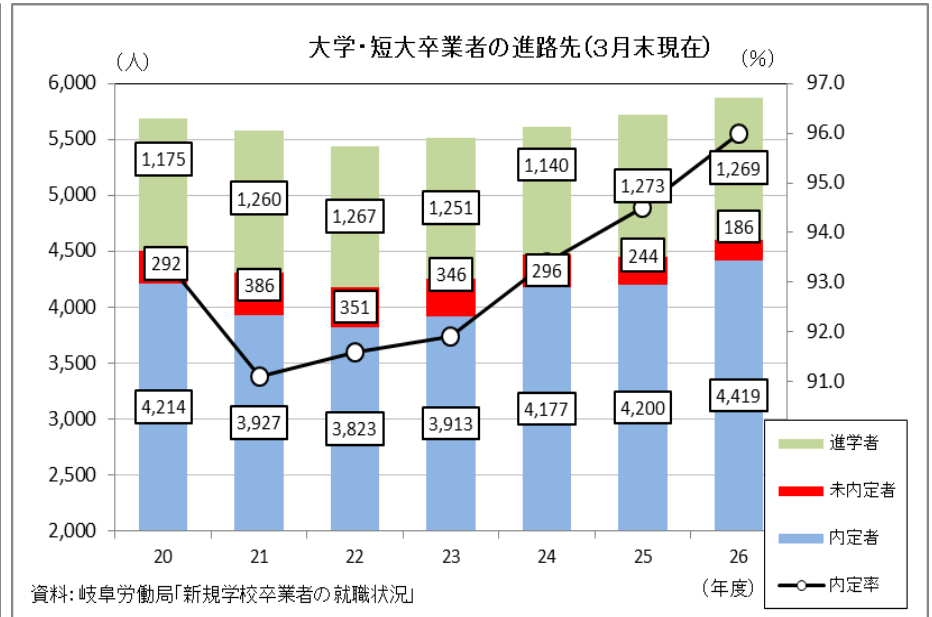
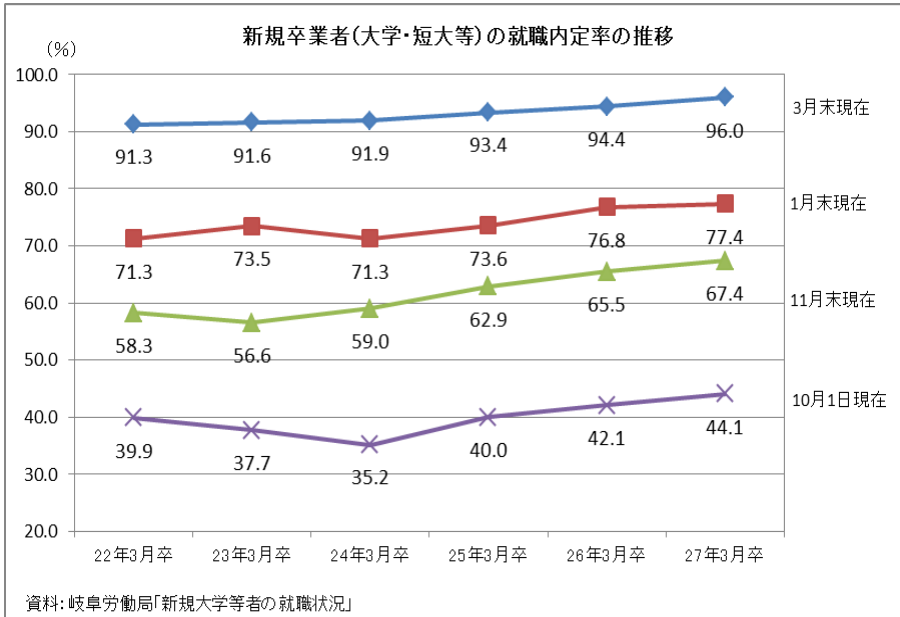
- ◆求人者数、求職者数はともに減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

○3月末時点の大学・短大卒業者(平成27年3月卒業予定)の就職内定率は、前年比1.6ポイント増加し、最近6年間に於いて最も高い水準となった。



現場の動き(平成28年3月卒の就活状況等)

【岐阜県内の主な大学】

☆9月より数値の集計を開始予定。就活スケジュールの変更により、同時期の内定報告より少ない状況。

◆面接などの選考報告は入ってきているが、内定報告については、7月下旬を見込んでいる。

◆7月から単独企業による説明会を実施し学生支援を行う予定。

【愛知県内の主な大学】

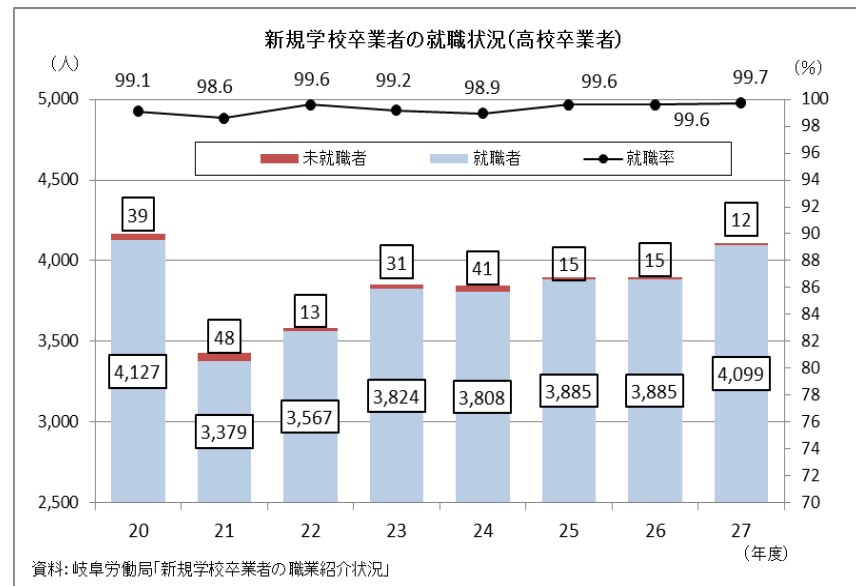
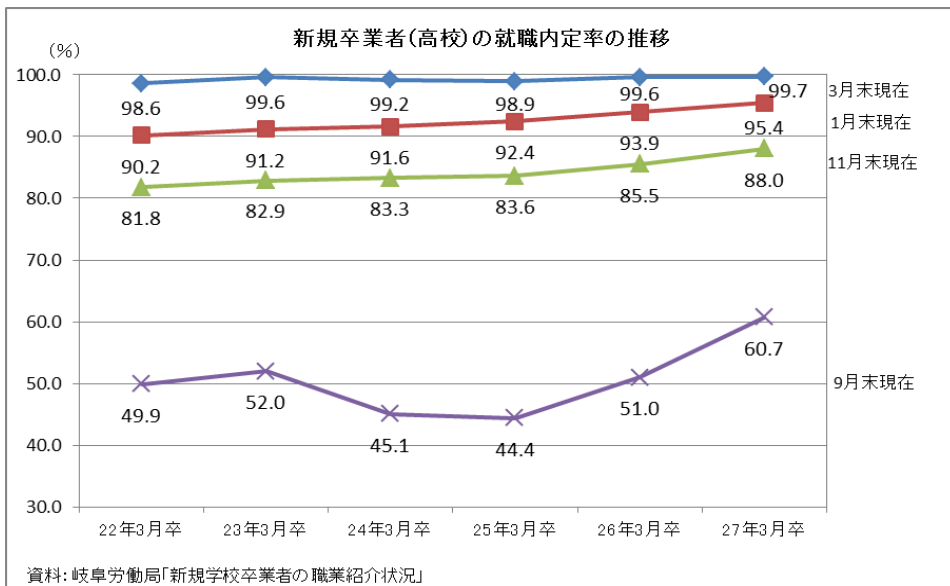
☆複数企業からの内定をもらっている学生や承諾書提出に関する相談が増えている。

◆就活スケジュールの変更で、内定率は昨年同時期に比べ大幅に減少。

◆昨年同時期には約5割の学生から内定報告を受けていたが、本年度は数十件しかない状況。

雇 用(高校新卒者の就職)

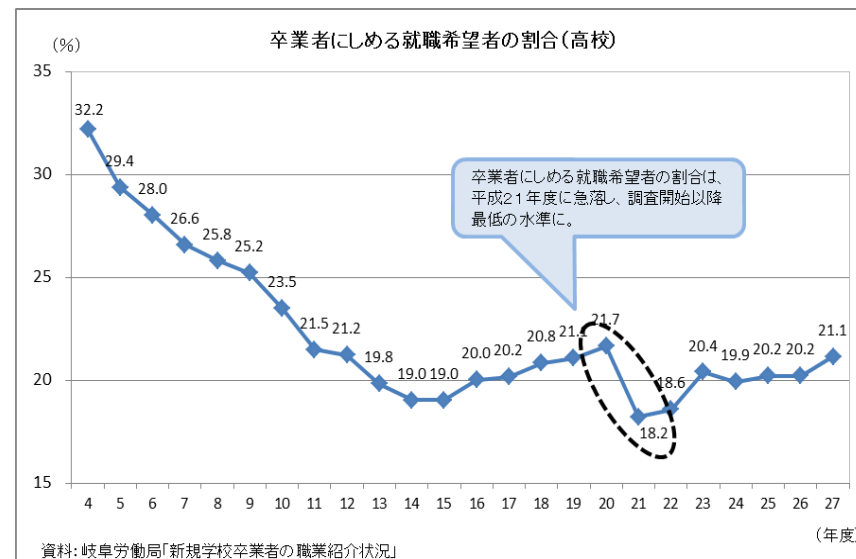
○3月末時点の高校卒業者(平成27年3月卒業予定)の就職内定率は、前年比0.1ポイント増加し、最近6年間に於いて最も高い水準となった。



現場の動き

- <ハローワーク岐阜>
- <ハローワーク大垣>
- <ハローワーク多治見>
- <ハローワーク高山>
- <ハローワーク恵那>
- <ハローワーク関>
- <ハローワーク美濃加茂>
- <ハローワーク中津川>

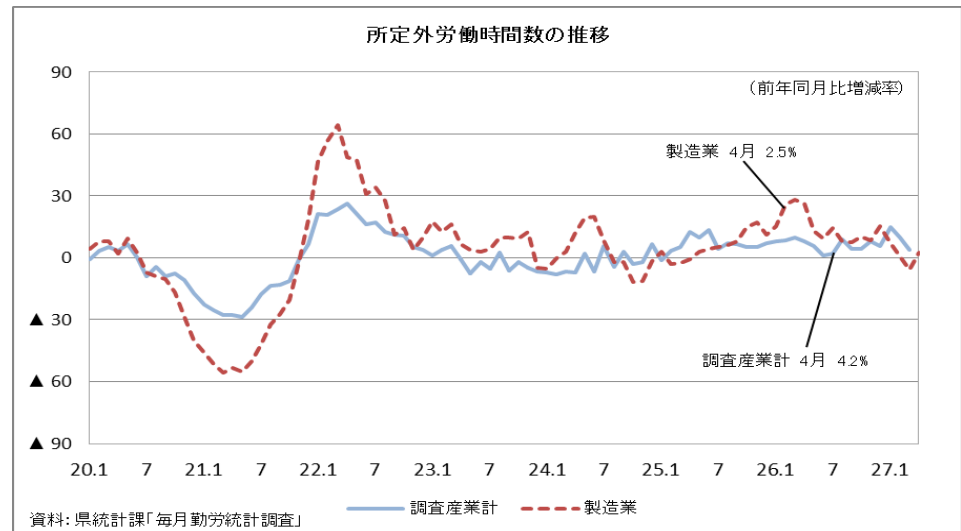
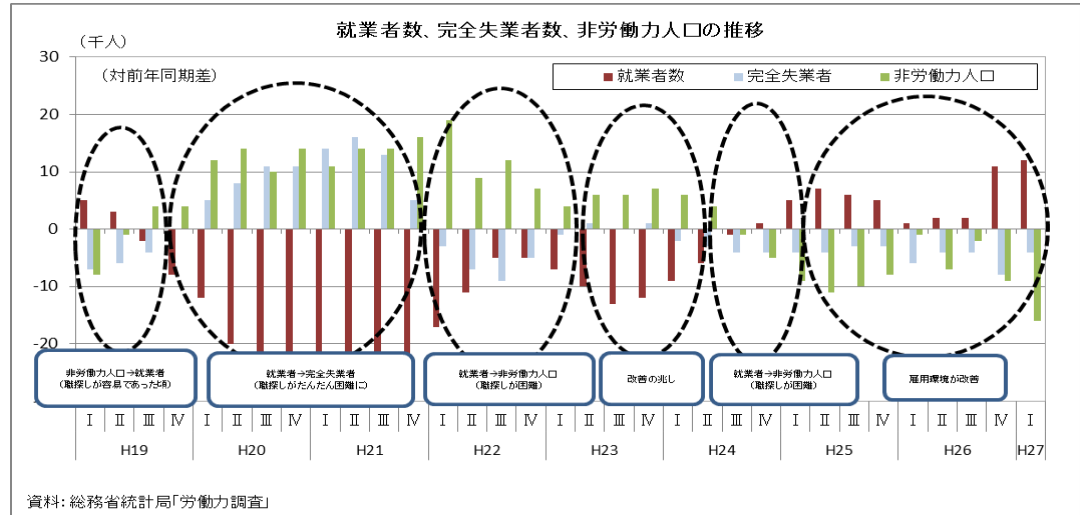
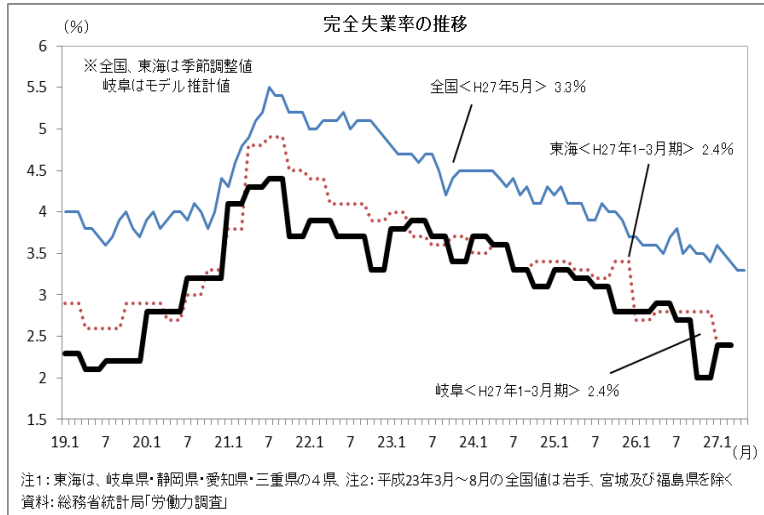
内定は増加。
 内定は横ばい。
 内定は横ばい。
 内定は横ばい。
 内定は増加。
 内定は横ばい。
 内定は横ばい。
 内定は増加。



雇 用(完全失業率)

○平成27年1-3月期の完全失業率は2.4%と前期比0.4ポイント低下した。

○平成21年以降、職探しが困難な状況のなか、平成23年に改善の兆しを見せた。平成24年に再び厳しい状況となったが、平成25年以降に雇用環境は改善している。



＜経済・雇用の現状（総括）＞

- 製造業全体では、輸入原料の高騰によるコスト高が続いているが、輸送用機械関連を中心に受注や生産は好調を維持しており、大型の設備投資の動きも見られる。
- 直近の円安の動きについては、原材料価格の上昇が続き、製造コストを一層押し上げている。しかし、販売価格への転嫁が進んでいない企業が多く、利益を大きく圧迫している。
- 地場産業は、依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いているものの、生産に落ち着きを見せ始めた企業も一部で見られる。
- 個人消費は、雇用環境の改善による賃金上昇を背景に、消費の裾野は徐々に広がりつつある。売上が前年同月比を上回るまでに回復している小売店も見受けられ、駆け込み消費の反動減は和らいでいる。
- 観光では、宿泊客数は、7割近くの施設で前年を上回っており、好調を維持している。インバウンドは、特に中国、韓国、欧州からの観光客の増加により、前年比で好調を維持している。観光入込客は、県内全域にわたり、前年比で増加傾向。
- 雇用面では、大学・短大・高校卒業者の就職内定率が最近6年間で最も高い水準となるなど、新卒採用を拡大する動きが見られるものの、製造業の一部や建設業、非製造業では、人手不足に陥っている企業が見受けられる。
- 企業の資金繰りは、改善傾向にある。新規融資実績も増加傾向にあり、借入難易度は緩やかながらも着実に改善している。